

質疑応答

C5-4

SNPおよび臨床データベースを対象としたハプロタイプ解析による知識発見方式とその実現

発表者

小川 健二（慶應義塾大学）

【1】

質問者

中野 美由紀先生（東京大学生産技術研究所）

質問内容

疾患の発生には、複数の因子が組み合わさっている．例えば疾患との関連がある複数の因子のうち、特に重要である特定の因子に対し、データマイニングの際に重み付けを行うなどの処理は可能であるか？

回答内容

個々の因子に対して重み付けを行うなどの処理も、適切かつ有効であると考えられるため、そのような方式の導入も今後の課題としたい．

（清木先生）

本研究は、医学部からの提案により、医者のヒューリスティクスをデータマイニングに利用するというを目的としており、本研究はその第一段階である．

【2】

質問者

横田 治夫先生（司会・東京工業大学）

質問内容

提案している知識発見方式で、思いもかけないようなルールやヒューリスティクスを発見することが可能であるか？本方式で導入している既知のヒューリスティクスとは異なり、新たなヒューリスティクスを発見できる可能性は存在するか？

回答内容

本方式を応用することで、新たなヒューリスティクスを発見することも可能かつ有効であると考えられるため、その導入も今後の課題としたい．